

# 広島文化学園短期大学 企業対象アンケート 卒業生に関する調査結果

令和元年12月  
広島文化学園短期大学  
就職・キャリア支援センター

## 1 調査目的

卒業生就職先の企業等へ「求める人材の要件」等の調査を行い、教育の効果及び学生が修得した学修の成果等を把握し、その結果を本学の教育内容にフィードバックすることにより、更なる改善に資する。

## 2 調査期間

令和元年9月

## 3 調査対象

平成31年3月卒業生が就職した企業等

## 4 調査方法

自記式の調査用紙（記名式）

## 5 回収率

回答数	依頼企業数	回答率
108	186	58.1%

## 6 調査内容

- (1) 事業内容
- (2) 採用の際の重視度（3項目選択）
- (3) 卒業生の資質（5段階評価）
- (4) 改善すべき事項（自由記述）
- (5) 本学の教育内容・教授方法等についての意見（自由記述）
- (6) 本学の教育についての意見（自由記述）

## 7 調査結果

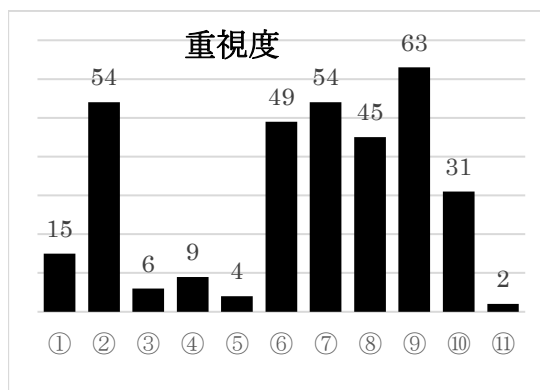
### (1) 事業内容

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
3	4	0	0	0	15	2	0	17	0	17	42	8	0

①建設 ②製造 ③電気・ガス ④情報通信 ⑤運輸・郵便 ⑥卸売・小売  
⑦金融・保険 ⑧不動産・賃貸 ⑨宿泊・飲食 ⑩娯楽 ⑪教育・学習支援  
⑫医療・福祉 ⑬複合サービス ⑭その他

### (2) 採用の際の重視度（3項目選択）

企業が採用時に最も重視される項目は「⑨コミュニケーション能力」である。続いて「②一般常識・教養・マナー」「⑦学ぶ姿勢・向上心」であり、全般的にコンピテンシーの要素（⑥～⑩）がリテラシーの要素（①～⑤）よりも重視されている。



る。

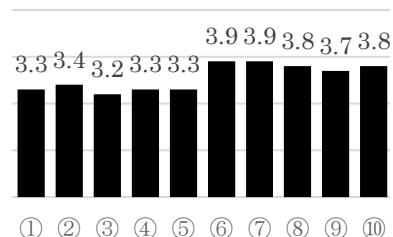
### (3) 卒業生の資質（5段階評価）

卒業生の資質についての評価結果は5段階評価で3.2から3.9である。

評価が最も高いのは「⑥意欲・熱意」「⑦学ぶ姿勢・向上心」であり、逆に評価が最も低いのは「③パソコン操作等の能力」である。

全般的にコンピテンシーの要素（⑥～⑩）がリテラシーの要素（①～⑤）よりも高い評価となっている。

資質



#### ※ (2) (3) の選択肢

- |               |                |               |
|---------------|----------------|---------------|
| ① 専門的知識・技能    | ② 一般常識・教養・マナー  | ③ パソコン操作等の能力  |
| ④ 理解・判断力      | ⑤ 問題解決能力       | ⑥ 意欲・熱意       |
| ⑦ 学ぶ姿勢・向上心    | ⑧ 責任感・誠実性・粘り強さ | ⑨ コミュニケーション能力 |
| ⑩ 協調性・チームワーク力 | ⑪ その他          |               |

### (4) 改善すべき事項（自由記述）

「大変意欲もあり明るい」「協調性やコミュニケーションの能力が高い」「仕事に対する責任感が強い」等、肯定的な評価を多く受けている。しかし、一方では「接遇とビジネスマナーが不十分」「一般教養・時事についての知識に欠ける」等、一般常識・教養・マナーに関することや、「専門的知識・技能」や「パソコン操作等の能力」について改善すべきであるとの意見をいただいた。

### (5) 本学の教育内容・教授方法等についての意見（自由記述）

「在学中に調理技術を身に付けている」「弊社のキーワード“食・健康・こども”と同様の学修内容」等、肯定的意見もあるが、「専門的知識・技能と同様に社会性の重視」「幅広い社会常識の学修」「ICT化に向けたパソコン操作の指導」等、専門分野だけではなく社会人としての基礎力習得に関する意見をいただいた。